

# 天城町立天城小学校公開研究会

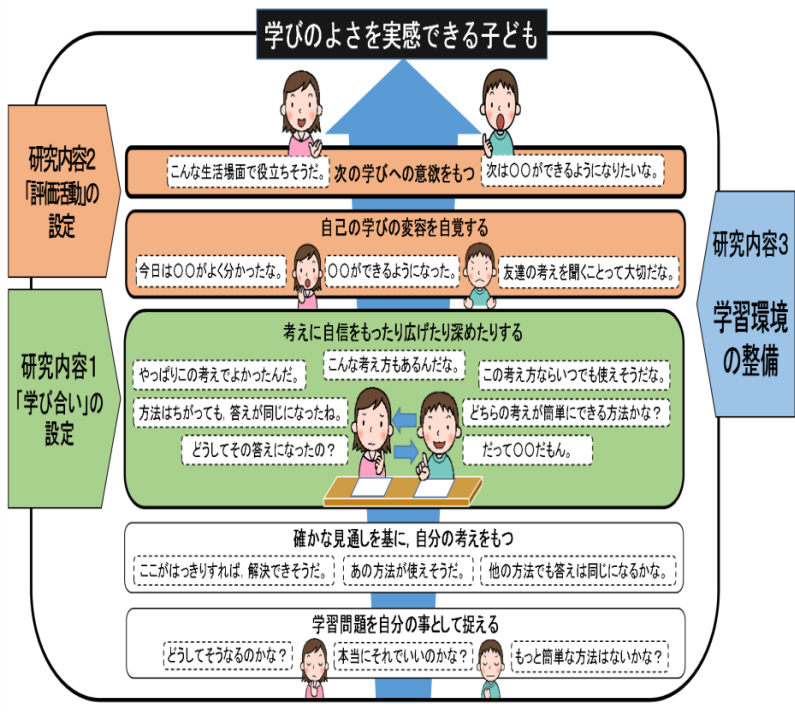
平成 31 年 2 月 1 日 (金) 公開

— 研究主題 —

学びのよさを実感できる子どもを育てる算数科の授業づくり  
～自己の考えを広げる・深める「学び合い」を柱として～

## 研究の概要

「授業の充実」・「一人も見逃さない個別、補充指導」・「情意的ポテンシャルの醸成」の実現を目指して



過程	主な学習活動と子どもの思考	教師の手立て
つ	1 学習問題を受け止める。 ・なぜかな、おかしそう、難しそう。 ・面白そう、やってみよう。 ・いろいろな方法がありそう。	教師の手立て □…教師による授業の振り返りチェックポイント <b>わくわく・シンプル導入8分間</b>
か	2 めあてを焦点化する。 ・前問とここが繋がる。 ・なんな書き方がありそう。 ・解けたけど、ちょっと大変だ。	【「気づき」や「問い」が生まれる課題の提示】 □ 既知な事柄や概念とのつれ・葛藤・矛盾 □ 疑問・驚き・好奇心 【目標の明確化】 □ めあてを焦点化させる発問の工夫
む	3 気づきを整理し、解決予想と見通しをもつ。 ・前回習った方法を使ってみよう。 ・ここが分かれば解けそう。 ・〇〇さんの考えと似ているな。 ・私はAの方法で解いてみよう。	【予想や見通しの可視化】 □ 前問までの内容の想起 □ これまでの学年における既習内容の想起 □ 発達して出された数ある選択枝からの自分の立場の明確化
す	4 自力解決に取り組む。 ・自分の考えではうまくいかない。 ・友達か予想で言っていたのは…。 ・とりあえず解けたぞ。 ・どう解説すれば友達に伝わるかな。	<b>自力解決と学び合いとの往還による深い学び</b> 【教師による見取りと個に向けた指導の充実】 □ ヒットカードの活用 □ 随時内容に対する分かりやすい図や表・数直線等によるイメージ化 □ 既習の図式化の促進
ま	5 子ども同士の「学び合い」を行う。 ・どうして？ ・なぜそうなの？ ・これはね… ・だって…	【互いの考えを学びに活かす「学び合い」】 □ 互いの考えの強固、付加・修正 □ 学び合いの形態の柔軟な対応 □ 形式的な学び合いに過ぎない、子ども同士の活発な意見交換 □ 共感的な態度で学び合いに語り、意見を言い合える雰囲気づくり
と	6 全体の「学び合い」を行う。 ・〇〇さんの考え方と同じだ。 ・〇〇さんの発想も確かに分かる。 ・Aの方法とBの方法は違う点もあるけど、考え方は同じなんだな。 ・より早く、簡単に解決するとしたらどれだろう。	【教師の発問による立場の工夫】 □ 子ども同士の考えの集約化 □ ICT機器やボードの活用 □ 思考を深める発問の工夫
め	7 本時についてまとめる。 ・今日のめあてを解決するには、黒板のキーワードから「～」ということだな。	【教員一体でまとめる結束】 □ まとめて最終するキーワードの黒板への可視化 □ めあてとまとめの整合性
と	8 適用問題に挑戦する。 ・今日の考え方でいくと、この問題は…。	<b>本時の内容の確実な定着</b> <b>学習前後の自己変容の振り返り</b>
ま	9 本時の学習を振り返る。 ・はじめは「～」だったけど、学び合いで考えた結果「～なこ」が分かったな。 ・〇〇さんの説明で考え方が明らかになった。 ・この考え方はどの数字でも生かせるのかな。 ・難しい時に使えるといいな。 ・今日は自分で解決できなかったところもあったけれど、次は自力で解きたいな。	【学習内容の一般化】 □ 類似問題を自力解決できる確実な見届け □ 発問的な問題の準備 【自己の学びの変容を実感できる振り返り】 □ 「わ」が分かった・できた □ 「つ」使えた方法・考え方 □ 「と」友達の考えによる自信・深まり □ 「い」生かしていきそうな生活場面 □ 「も」もっと知りたい・挑みたい

## 「天小算数スタイル」の確立

- 研究内容1 自己の学びを広げ、深めたいくなる「学び合い」の設定**  
算数が苦手な子の不安解消・分かる喜びと、算数が得意な子の自己有用感や自信の強化を目指して
- 自力解決に挑んだ自分の考えを様々な形態の「学び合い」で発信
  - 個と「学び合い」との往還により、自分の考えを強固・付加・修正する時間のしかけを設定
- 研究内容2 自己の学びの変容を振り返る「評価活動」の設定**  
適用問題から子どもの自己変容までを確実に見取り、授業前後の成長に向き合う姿を目指して
- 振り返りの合言葉「わつといも」による5つの観点の設定
  - 自己の学びの変容を肯定的に振り返り、次時へつなげる評価活動
- 研究内容3 学習環境の整備**  
「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる「基礎的・基本的な知識・技能」の確実な定着を目指して
- 「天小スタディ」・「学力向上ルーティン」の設定
  - 「C チェック一覧」作成による、学年及び子ども一人一人の実態分析と対策
  - 「算数コーナー」設置による数学的活動の日常化、振り返りのよさの共有化

## 公開授業及び分科会の様子



**公開研究会出席者から**

- 天小算数スタイルがよくまとめられており、実践してみたい。
- 日頃からの実践が、学び合いや振り返りの様子から伺い知ることができた。
- 子どもたちが、自力解決に挑みたくなる教材が準備されていた。
- 学び合いも振り返りも人権教育の観点が含まれており、よい試みだと思った。
- 全職員が一丸となって、子どもたちの力を伸ばそうという意識が感じられた。
- 分科会では、時間をもっと欲しいと感じるくらい活発な意見交換ができ、充実していた。
- 公開研究会に多くの地域の方が出席されており、学校と地域の一体感が感じられた。